

5 綾部市君尾山光明寺の総合調査

安部萌花・正瑞千幸

はじめに

歴史学科では、2018年度より地域貢献型特別研究（ACTR）として、綾部市君尾山光明寺の総合調査を実施している（代表 横内裕人）。以下、今年度の活動状況を簡単に報告する。

1. 調査日程・参加者

日程 1回目 2020年9月21日（月）～24日（木）

2回目 2020年11月7日（土）・8日（日）

参加者

1回目

9月21日～24日 横内裕人・岸泰子（教員）、阪東寛之（M1）、安部萌花・正瑞千幸（3回生、以上京都府立大学）、21・22日 辻真澄（元京都府総合資料館）、23・24日 山岸常人（京都府立大学文学部特任教授）

2回目 横内、岸、安部、正瑞

2. 調査内容

建造物班は光明寺参道沿いに立つ子安堂と君尾山麓の鳥垣集落にある坂尾呂神社の建造物調査（野帳・調査票の作成、撮影）を実施した。坂尾呂神社では棟札の調査（撮影・記録）も併せておこなった。

文書班は、光明寺本堂内にある大般若経の撮影・測量・記録をおこなった。大般若経は南北朝時代の版本や室町時代前半の写本、江戸時代の版本・写本に分類出来ることが分かった。また、近隣の室生谷神社から伝来したことを示す表記も見つかり、大般若経が様々な場所から集められたことが判明した。

11月7日・8日の調査では、大般若経の補足調査と光明寺旧参道の踏査をおこなった。

本年度末にはこれまでの調査の成果をとりまとめ、報告書を刊行する予定である。



写真1 調査風景